

令和8年1月19日

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保 育
事業所名	レイモンド大津保育園
代表者氏名（管理者）	園長 小谷 梢
法人名	社会福祉法人 檸檬会
定員（利用人数）	90名（90名）
施設・事業所所在地	〒520-2153 滋賀県大津市一里山7丁目1-1 フォレオ大津一里山1F
T E L	(077) 544-0400
F A X	(077) 526-7200
電子メール	kozue.k@lemonkai.or.jp

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター
評価実施期間	2025.11.10 & 2025.11.13

○ 総合評価

平成21年4月に設立された「レイモンド大津保育園」はフォレオ大津一里山の商業施設内にある認可保育園です。

一人ひとりの限りのない可能性をしっかりと受け止め、職員全員が子どもを信じ信頼関係のもと法人の保育理念である①人・命を愛する心②自然と共に生きる心③想像（創造）する心を育んで行くことを目指して職員全員が意見を出し合い、考え合い、話し合って前向きに取り組んでいます。

商業施設内という限られた立地条件の中、園長始め職員一丸となってさまざまなアイデアや取り組みを実施して、園の保育方針に基づいた保育サービスの質の向上に取り組んでいます。

園庭はないが、自然と触れ合うことができ近隣の環境を活かし、自然に触れ、豊かな感性を育む活動・遊び、地域に関わる活動について家族からの満足度が得られるよう、戸外活動に取り組んでいます。

園長初め職員全員参加の下、コミュニケーションを図りながら方針に基づく保育を目指し園が子供たちの居場所であり、子ども達が喜んで登園し、愛され育つ場になるよう子ども達のために何が大切か、職員全員で意見を出し合い情報を共有して保育を実践しています

○ 特に評価の高い点

環境を活かし自然と共に生き、地域交流を根差した保育運営

法人の保育理念「自然と共に生きる心」に基づき近隣の公園や自然と触れ合う環境を通じて季節に触れ合い、年齢に応じた散歩コースが組まれており戸外活動を通じて地域との関わりを大切にしています。

保護者の送迎時に園長始め職員全員で保護者の訴えに耳を傾け、話しやすい雰囲気、態度、声掛けに気を配り信頼関係の構築に努め、愛される保育園を目指しています。

保育内容の取り組み

外部講師による英語教室・スイミング・ダンス教室を実施し体幹や体力を身につける取り組みを活かして「遊びと体験」を行うことで身体能力が増す活動を保育に取り入れ子ども達と職員がお互いに育ち合える環境作りを実施しています。

子どもが毎日楽しく、元気に通ってくれる姿が見られて安心し嬉しく思うと共に、職員への感謝の声が上がっています。

食育に関しての取り組み

自園で収穫した食材を活用して、旬の食材を楽しむことができる食育に繋がっています。

栄養士と調理師によりバランスの良い食事を提供しています。

自宅で野菜の偏食が激しかったが最近食べられるようになったという感謝の声が上がっています。

○ 改善を求められる点

園内の環境への配慮について

限られた保育スペースの問題は理解できるが、教室内の整理整頓、備品等の配置を変更することで保育スペースの確保ができるのではないかと検討・見直しを提案致します。

苦情解決の仕組みについて

苦情解決窓口の受付は、玄関先に掲示等されていますが、具体的な仕組みや説明が十分に理解できていないため、保護者と共有されることを期待いたします。

第三者評価結果に対する事業者のコメント

自園の取り組みや活動、運営に関しましてしっかりと評価していただけたこと、感謝いたします。限られた環境の中ではありますが、“できない”理由を並べるのではなく、“どうしたらできるか”を探究し続けていくことを大切にしています。また、職員同士の良好な関係性がより良い保育を行う上で大切なところです。互いを刺激し合い、認め合いながら、園に関わる全ての人が『安心できる場所』として求めてもらえるような園を目指し、いただいた評価に甘んじることなく、更なる質の向上に努めていく所存です。

改善項目につきましては真摯に向き合い、改善に向け取り組んで参ります。環境整備に関しましては自園でも課題と感じているところです。まずは安心安全を第一に考え環境設定を行い、子どもたちが十分に活動し伸び伸びと過ごせる環境を目指します。その中で保護者との信頼関係の構築においてはより丁寧な対応や情報共有を行うことで園とご家庭との更なる連携をはかって参ります。苦情解決の仕組みにつきましては、園内への掲示や園生活のしおりへの記載はありますが、十分な周知までは行き届いておりませんでしたので、掲示場所の変更により利用者の目に届きやすくし、懇談会等での説明も加えることでより周知できるようにしたいと思います。

決して現況に満足することなく、時代の変化や求められるニーズへのアンテナをはり、より求められ“推される園”運営を目指して参ります。